

第11回 人と自然：環境思想セミナー

や  
ぎ  
も  
の  
の  
現  
在  
と  
自  
然

# 深 き 淵 より

Deep  
profound

講師：十五代 樂 吉左衛門 氏

2008年6月13日（金）15:00-17:00

地球研・講演室

申込不要  
聴講無料

Photo: 佐川美術館 樂吉左衛門館 水露地 (撮影: 畠山 崇) 主催: 総合地球環境学研究所(地球研) プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」

# 第11回 人と自然：環境思想セミナー

De profundis

## 深き淵より — やきものの現在と自然

樂吉左衛門は稀に見る「思惟する」陶芸家である。たしかに、最後は作り出されたモノがすべてのやきものの世界とはいえ、誰とて制作にあたっては思惑をめぐらすことだろう。樂の思惟が他の多くの作家と異なるのは、深き内省と言説の可能性の追求という点で、それがきわめて哲学的だということだ。

思惟する造形、あるいは思惟を促す造形——そもそも樂茶碗というものがそういう類いのやきものなのかもしれない。自己表現の極北にして一切の言語を拒絶する造形をものした初祖長次郎(?-1589頃)を睨みつつ、破壊と創造、偶然と必然、無作為と作為、相反する二つの項の狭間で、樂は今ここに生きる自己の相をいかに把持するか煩悶を重ねてきた。そんな彼のまなざしは執拗に自己の奥深くへと沈潜していく。「僕の中に そっと垂線をおろしていくこと、僕という存在の洞を手探りで降りてゆくこと」(1)。「私の中に“下降”への憧れとどめ言うべきものがある」(2)。その果てに開かれる、深き淵——「いま口から発せようとする言葉が一瞬にして凍りついてしまう淵」(3)。自己の内奥を彷徨した末に、何か説明しえぬもの、語りえぬものに遭遇することになるのは、内省の深さと徹底の証しである。この語りえぬものに形を与えることが、一般に創作と目されるいとなみであろう。しかしながら樂は、そうして生み出された形ある存在としての作品に、形象化しえぬ概念として、あるいは象徴的な詩的想念として、なおも言葉を寄り添わしてきた。それは何よりもまず作品タイトル、いわゆる銘として示されるが、あるいはときに重厚に積みあげられる思弁となり、ときに軽やかに疾走する随想となる。思惟する陶芸家・樂吉左衛門は、語る作家でもある。

そんな彼の語り、しかも自然に関する語りに耳を傾けてみようというのが、今回のセミナーの目的である。2007年、琵琶湖のほとり佐川美術館に、彼が自ら設計した樂吉左衛門館が完成し一般に公開された。水底深く沈められた作品展示室にはじまり、水中に潜む小間の茶室、水面ゼロレベルに浮かぶ広間の茶室にいたる空間構成に託されたのは、「自然との位置関係」だという(4)。そこで彼が思惟した「自然」とは何であったのか。

深き淵より de profundis —— 作陶さらには建築設計を通じて彼の出会った自然を問う。

(環境思想セミナー担当: 鞍田 崇)



焼貫黒樂茶碗 銘 海市、2003年

撮影: 畠山 崇

- (1)『十五代襲名記念』、高島屋、1983
- (2)『樂吉左衛門館』、佐川美術館、2007
- (3)『天問』、寛土里、1990
- (4)『陶説』655号、日本陶磁協会、2007

### 【講師】 十五代 樂 吉左衛門 RAKU Kichizaemon 15th

1949年京都生まれ。東京藝術大学美術学部彫刻科卒業。2年間のイタリア留学をへて陶芸を始める。81年、十五代樂吉左衛門を襲名、現在に至る。87年、プリンストン大学ヴィジティング・フェローシップ招待講師として渡米。97年、「RAKU — A Dynasty of Japanese Ceramics」展をイタリア・フランス・オランダで開催し、自身の作品とあわせて樂家歴代の作品をはじめ海外で紹介。作品は、京都の樂美術館はじめ、京都国立近代美術館、東京国立近代美術館、ヴィクトリア&アルバート美術館(ロンドン)などに永久コレクションされている。襲名後の初個展で従来の赤樂と黒樂に交えて斬新な焼貫茶碗を発表して以来、伝統と創意の狭間で「現在」のかたちを問い続けている。

日時：2008年6月13日（金）15:00-17:00

会場：総合地球環境学研究所（地球研）講演室

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山475-4



申込不要・聴講無料

主催：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
総合地球環境学研究所 文明環境史プログラム  
プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」  
(リーダー：佐藤洋一郎・地球研教授)  
<http://www.chikyu.ac.jp/sato-project>

#### 【アクセス】

##### ■JR・近鉄・阪急沿線より

京都市営地下鉄烏丸線に乗り換え、「国際会館」下車。  
国際会館駅バスターミナル2番乗場から京都バス40系統  
(京都産業大学前ゆき)にて、「地球研前」下車スグ。

##### ■京阪沿線より

出町柳駅で叡山電鉄鞍馬線に乗換え、「京都精華大前」  
もしくは「二軒茶屋」下車、徒歩10分。

##### ■車・タクシーでお越しの方は

国際会館より府道40号線で二軒茶屋方面へ。

人と自然：環境思想セミナー  
～今後の予定～

第12回／7月15日(火)

「近き花、遠き花：

‘たてはな’に見る自然との関わり」(仮題)

講師：川瀬敏郎氏(花人)

第13回／8月21日(木)

「千年の食卓：

源氏物語における食材と料理」(仮題)

講師：堀場弘之氏(料理人・「六盛」社長)

第14回／10月1日(水)

「われわれは何を失ったのか：

焼畑と日本の基層文化」(仮題)

講師：姫田忠義氏(民族文化映像研究所所長)

お問い合わせ

環境思想セミナー担当 鞍田 崇 (地球研研究員)

075-707-2382 fax.075-707-2508 kurata@chikyu.ac.jp